



活躍する同窓生



オアシス21オープン記念番組 NHK「おしゃべりランチ」出演

感動を伝える  
表現者でありたい

トランペットとの出会いは小学校4年生の時、ブラスバンド部で。その音色に魅せられて以来、トランペットとつきあっているという。ジャズの世界に飛び込んだのは中学校1年生、彼女の非凡な才能に対して地元のプロのバンドにスカウトされてから。デキシーランドジャズを中心とするそのバンドに所属し、メンバーと一緒に世界各地を旅する。デキシーランドジャズの本場アメリカニューオリンズで、「観客と一緒に心から音楽を楽しんでいるミュージシャンの姿を目

のあたりにして、音楽が人を幸せな気持ちにできる力を感じたこと」がジャズへの傾倒を決定づけた。現在、デキシーランドジャズのバンドとラテンバンド、そしてソロと、いわば三足のわらじを履き精力的な活動を続けている。  
中村さんにとって音楽とは、「自分の中で高まってきたもの、感動したものを素直に表現しながら、聴いてくれる人々と同じ感動を共有する出会いの場」であるという。敬愛するレイ・アームストロングのように、「音楽を通して生きざまや、すべての人々に対するあたたかい愛情を表現できるような音楽家＝表現者でありたい」ともいう。

一人の人間として、音楽家として、深みを持ちたい

ライブでは、「観客と一緒に時間を共有し、音楽を通じてみんなの心が開放的で、純粹に幸せな気持ちになれたら最高」だという。技術的にはまだまだ勉強中とはいいが、音楽に対する真摯な考え方はまさにプロ。自分が感じたこと、伝えたいことを、しっかり表現するために「一人の人間として、音楽家として、も



ジャズトランペッター

中村好江氏

前向きでひたむきな  
魂の持ち主

平成10年、名古屋学院大学外国語学部在籍の女子学生が、ソロのジャズトランペッターとしてプロデビューを果たした。彼女の名前は中村好江さん(平成13年卒業)。中学生の頃からデキシーランドジャズのプロバンドでも演奏していた中村さん、大学卒業後、各地のイベントやフェスティバル、ライブハウス等で精力的に活躍している中村さんの音楽観とは…。



「花フェスタ」野外コンサートにて

出合いを大切に、これからも

っと深みを増していくことが大切」だと痛感している。人との出合いが人間を成長させる、その重要性を知っている彼女は「一瞬一瞬の出合いを真剣勝負のようにとらえている。明るく笑みを絶やさない今どきの若い女性のように見えるが、素顔は自分の在るべき姿をしつかり見つけた、芯の強い前向きな女性だ。

そんな中村さんのライブは、世代を問わず心に訴えかけるパッションに満ちたもののように、観客から「ジャズのことにはよくわからないが、自分の人生に対して何か生き甲斐を見つけたような気がする」というコトバが飛び出したエピソードからも伺いしえよう。この9月から再び精力的なライブ活動を展開する中村さん。一度彼女の音楽に接してみたい、と思わせる魅力を備えたジャズトランペッター。どこかのライブハウスで、イベント会場で、「中村好江」の名前を見かけたら、彼女との出合いの場に追加してはいかがですか。

活躍する同窓生募集!

名古屋学院大学同窓会会報「ngudo.com」では、各分野でご活躍される一芸に秀でた同窓生の方々の情報を募集しています。お知り合いの同窓生で、「この人は」と思われる方がいらっしゃれば、是非同窓会事務局までご一報ください。電話、FAX、同窓会ホームページへの書き込み、どちらでも大歓迎です。ホームページへの書き込みは、トップページの「DO BOX」をご利用ください。

■名古屋学院大学同窓会事務局  
☎052-242-6444 FAX 052-242-6445  
◎同窓会ホームページ  
<http://www.ngudo.com>